

CBDCフォーラム
【追加サービスとCBDCエコシステム】WG（WG2）
第9回会合 事務局説明資料

APIサンドボックスプロジェクトの進捗状況について

2024年6月25日
日本銀行 決済機構局



プロジェクトの概要

【1】追加サービスにかかる知見の共有

これまでと同様に、各社のご関心に応じたテーマにつき、プレゼンテーションを通じて知見を共有いただく。（個社・チーム／単発・継続）

【2】CBDCの機能拡張性に関する研究

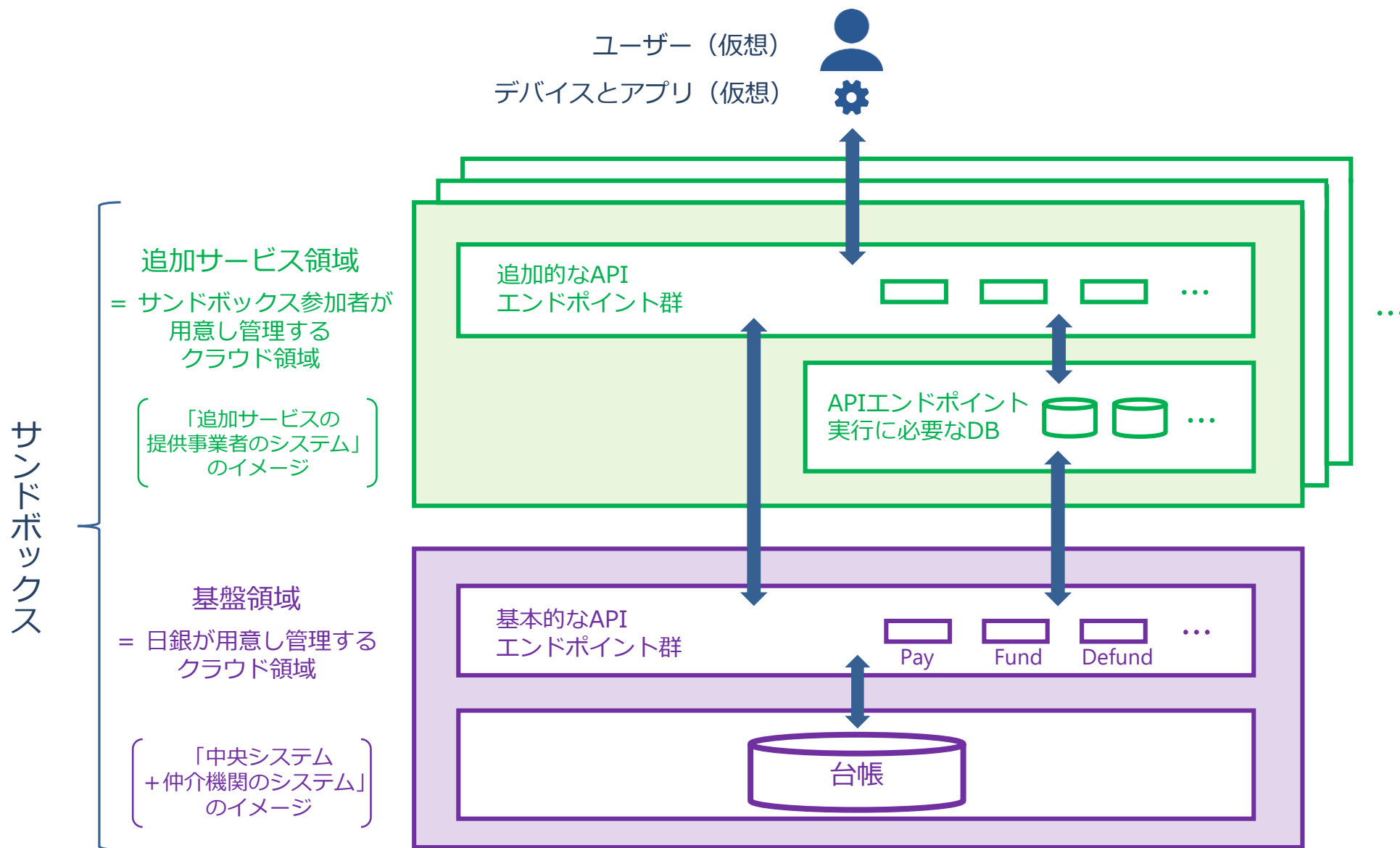
共同で実験環境（APIサンドボックス）を用意した上でAPI群を構築し、CBDCの機能拡張性について、「手を動かしながら」研究する。（チーム／継続）

【3】追加サービス・ユースケース検討

【2】の動きなども踏まえ、機能を組み合わせてどのような追加サービスやユースケースが可能かを検討する。（チーム／継続）

APIサンドボックスプロジェクト

CBDCフォーラムWG2の活動の一環として行うもので、パイロット実験のもう一つの柱である「実験用システムの構築と検討」とは別のプロジェクトです（必要に応じて相互のフィードバックは想定）。



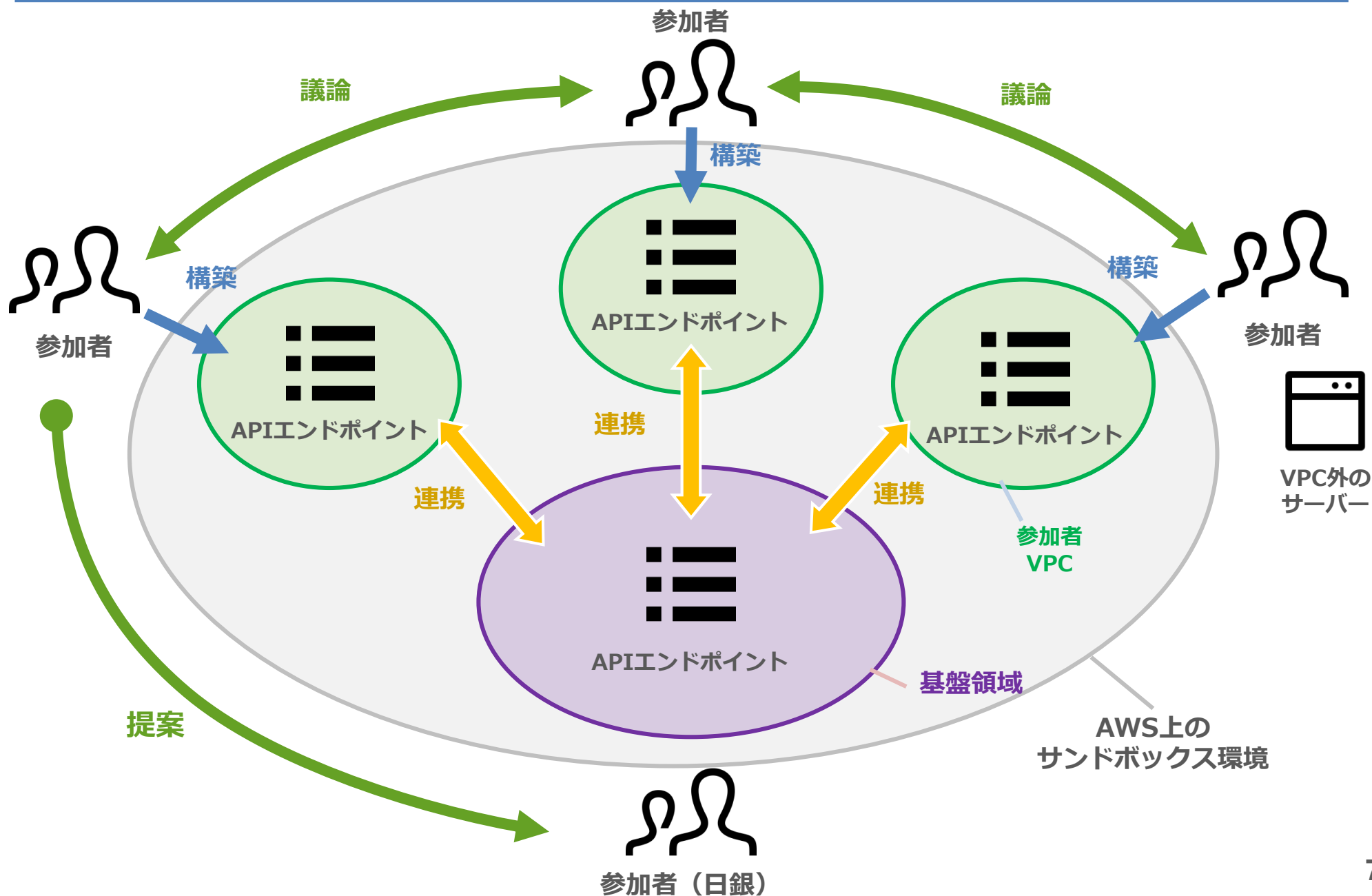
サンドボックス構築チームの詳細

【サンドボックス構築チーム】…WG2有志+日銀WG2事務局

- チームメンバー（有志の企業）にて、以下を行っています。
 - － 自社の「追加サービス領域」およびAPIの構築
 - ✓ 環境を構築の上、自由な発想でAPIを構築していただきます。
 - ✓ 日銀と有志企業の皆さまのクラウド領域が接続され、API群が連携して稼動するイメージです。
 - － 追加サービス・ユースケースとAPIに関する検討
 - ✓ 追加サービス領域（自社・他社）と基盤領域のAPIを組み合わせ、具体的な追加サービスやユースケースについて検討します。
 - ✓ どのようなAPIがあると機能の拡張性向上につながるか、検討します。
※構築したAPIのみを前提として検討する必要はありません。
 - － 「基盤領域」に関する改善提案
 - ✓ API構築を踏まえ、基盤領域に関する改善を提案していただきます。
- エンジニアの方をアサインいただいています。
- 成果は、WG2の会合において共有していただきます。

プロジェクトの取り組み状況

基盤領域への各社の接続は完了



ソースコードはHP公開

- 6/21（金）に、基盤領域に構築したAPIのソースコードを、日本銀行HPに公開

日本銀行HP（CBDCフォーラムに関するページ）

https://www.boj.or.jp/paym/digital/d_forum/index.htm

各ワーキング・グループにおける議論・資料

掲載日	資料名
2024年 6月21日	 【追加サービスとCBDCエコシステム】に関するWG APIサンドボックスプロジェクト参考資料 [ZIP 76KB]

- ・ api-spec.yaml : API定義書
- ・ api-handler配下 : 基盤領域のAPIを構成するソースコード
- ・ disclaimer.txt : 本資料に関する免責事項

基盤領域に構築したAPI

基盤領域に構築したAPI（6月25日時点）

APIエンドポイント	機能
/account	指定したCBDCユーザー口座情報を参照
/balances	指定した口座に紐づく残高を参照
/transactions	指定した口座に紐づくトランザクション履歴を参照
/fundings	指定した口座に紐づく残高にCBDCを払い出し
/defundings	指定した口座に紐づく残高のCBDCを受け入れ
/payments	送金元口座から送金先口座にCBDCを送金
/hashed-timelocks	以下条件で、指定額のCBDCをロック - 送金先口座は、タイムアウトまでに秘密（ハッシュ値の原像）を提出することで、ロックを解除し額面を受金する。 - 送金元口座は、タイムアウト後に差し戻し要求をおこなうことで、ロックを解除する。
/internal/accounts	CBDCユーザーの口座を管理（作成、修正、削除、一覧の参照）
/internal/balances	残高を管理（作成、修正、削除、一覧の参照）
/internal/balance-connectors	口座と残高の紐づけを管理（紐づけ、紐づけ削除、紐づけ状況参照）
/internal/transactions	複数の残高の値を一度に、任意の額増減させるトランザクションを発行・処理